

保護者や地域と共に創る！ やる気 やさしさ あふれる 笑顔の花咲く相知小 ONE TEAM！
～おちついて うでくんで ちえを出し合う 相知っ子～「キラ・にこ・きび・はき・どん」

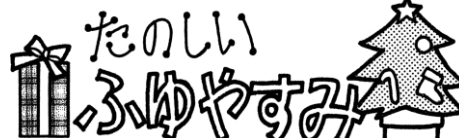


この指とまれ！

唐津市立 相知小学校
学校だより No. 12
令和6年12月24日発行
文責：校長 佐伯美和

右上のQRコードを読み取っていただくと、相知小学校ホームページからカラーでご覧いただけます。

2学期終了



今日で2学期が終わりました。たくさんの行事や体験活動を通して学びを深め、充実した毎日を送ることができた2学期でした。ここ1～2週間は、インフルエンザの罹患者が増えました。学級閉鎖になったクラスもあり、とても心配しましたが、できる限りの感染拡大防止に努めながら、学びを進めてきました。予定していた行事はリモートで行う等、できる工夫をしながら、活動を止めることなく実施することができました。

保護者のみなさま、2学期も学校へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、明後日から14日間のお休みに入ります。12月は大掃除や新年を迎える準備、年が明けると年始のご挨拶と、この時期ならではの行事がたくさんあります。ご家族で色んなことに一緒に取り組みながら、共に過ごし、団らんし、今、どんなことを考えているか理解し合えるいい時間でもあります。どうぞ、健康に留意されながら、素敵な冬休みを送って下さい。



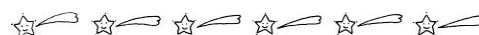
【12月11日の人権教室、そして、18日 リモートでの人権集会で人権について考えました】

自分が人と比べないそのままの自分であることが大事だと思う自信、つまり、目の前の人だって、そのままであることが大事だと思う心。なんの心配もなく学習、遊び、活動ができる自由。安心して何でも思いっきりやれる安心感。これらは人権を尊重する上で大事ですよという話をしました。また、一人ずつ違う私たち。違いがあるからこそ豊かで面白い…こういう風に「違っていることを価値あることだと捉え、お互いに違いを認め、大事にし合える人になろう」という話もしました。おうちでも、人権尊重について、語り合ってみてください。（詳しくは、次頁をご覧ください。）

【頑張った持久走大会】



11日（水）は、多くの応援をいただき、ありがとうございました。子どもたちは体育の時間や中休みに行った練習の成果を精一杯出して、ゴールまでよく頑張ったと思います。途中諦めたくなくなったり、きつさに負けそうになったりしますが、その度に応援してくれる方々の声に押され、それまで頑張ってきて得た自信を糧にして、全員が自分との闘いを制しました。こんな経験も成長段階では必要ですよ。とっても価値ある経験をしていると思います。今年の記録は、また来年に繋げながら、自分の記録をどんどん更新していくことを期待しています。



【入賞おめでとう！！】 ※丸数字は、学年です（スペースの関係で、敬称は省略しております）。

学童美術展

②県特選 ③原 葵 ④合谷 美咲 ④山口 漣真 ⑤川崎 慶次 ⑤野崎 瑛太
②県準特選 ④市丸 蒼紗
②県入選 ⑤谷口 桃寧 ⑤原 美月 ⑤松本 凛花



3学期の始業式は、2025年（令和7年）1月8日（水）です。怪我や病気をすることなく過ごし、始業式当日はみんなが元気に登校してくるのを待っています。



良い年を
お迎え下さい

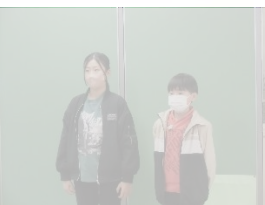
※人権集会：インフルエンザ感染拡大防止のため、リモートで行いました。



【配信元】



【司会】



【はじめの言葉】



【進行】



【おわりの言葉】



【4年生：「誰もが安心して過ごせる社会を」】



【5年生：「あなたはあなた」】



【6年生：「歴史から学んで」】

そして、これまでに学んだ人権感覚が無意識のうちに行動することに表れている児童・生徒がいました！

12月22日（日）のことです。2人の小学生が中学生と一緒に佐里小学校の運動場で遊んでいると、佐里駅から何とか歩いてきたことが容易に想像できる80歳過ぎのおばあさんから、「ちょっと手伝ってもらえないだろうか」と声を掛けられました。そのおばあさんは、買い物した荷物をたくさん持っておられ、杖を突き、大変そうに歩いておられたそうです。それで、中学生と一緒にそのおばあさんを1kmほど先にある自宅まで送りました。荷物は3人の中学生が持ち、2人の小学生は両側から、おばあさんを支えるようにしながら、転倒しないよう安全確保のサポートをしての歩行をし、5人で無事に送ることができたそうです。その児童・生徒というのは、5年生の梅崎大夢さん兄弟と江里啓太さん兄弟、そして、その友達の5人です。

このことは、翌12月23日（月）、そのおばあさんのご家族の方が、学校へその報告とお礼の電話をかけてこられたことで分かりました。本当だったら、自分が迎えに行くべきところを、その日はどうしても都合がつかなかったため、おばあさんは歩いて帰ることになっていたということでした。

ご家族は子どもたちの善行に対して非常に感謝しておられ、何度もお礼を言われました。今日、全校にもこのことを紹介し、困っている人がいたら手をさしのべ、自分にできることをする、そんな行動が自然にできるといいですねと、みんなで確かめ合いました。令和6年の最後に、心温まるお話でした。